

# おめでとう “新成人”

## 585人が大人へスタート

### スライドで20年を振り返る

一人の大人として自覚と責任を  
成人の日の一月十五日、午後  
一時から市民体育館で「成人式」  
が行われました。

市内で大人の仲間入りをした新  
成人は男三百十人、女二百七十五  
人の計五百八十五人で、うち三百  
八十人が式典に臨みました。  
オープニングは、連合青年団製  
作の「二十年の出来事」と題する  
スライドの上映で始まり、約三十

分で生まれてから二十年間を振り  
返りました。

続いて、小笠原市長ら来賓から  
「みなさんはこれからの南国市を  
背負っていかれる人たちです。大  
いに期待しています」と祝福を受  
け、鈴江教育長から記念品が贈ら  
れました。

これに対し新成人を代表して久  
礼田の久米由岐子さんが「今日か  
ら社会を構成する一員としての心

#### 教育委員会から

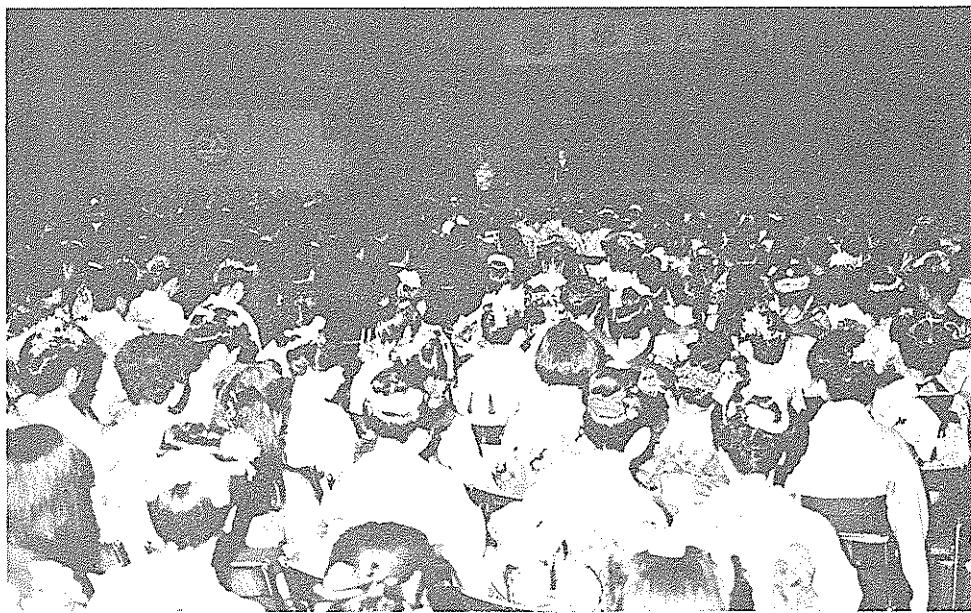
都合により成人式に出席で  
きなかつた方は、記念品（ア  
ルバム）が残っています。教  
育委員会社会教育課へ二月中  
に申し出て下さい。



青年団員による祝いのもちつき



決意新たに20歳の献血



今年も晴れ着姿が多かった成人式

目を開き、心豊かに生きていきま  
す」と二十歳の決意を述べました。  
最後に、青年団員が会場前でつ  
き上げた紅白の祝いもちが、来賓  
などから配られ、大人への門出の

祝福を受けました。  
また、恒例の「二十歳の献血」  
には新成人二十人が協力、自覚と  
社会奉仕の第一歩を踏み出しまし  
た。